

ライブコマース配信の受入れについて

「TOKYOハンドメイド祭」では、会場内全体のライブ配信はお客様へのプライバシーへの配慮から禁止していますが、各出展ブース内でのライブコマースバイヤーによる配信の受入れに関しては出展者ご自身のポリシー(方針)に委ねております。※「TOKYOハンドメイド祭vol.2」以降は「ライブコマースバイヤーの配信を受入れている」出展者の方がおよそ8割を超えております。

ライブ配信のルール① イベント展示室内全体・通路・入口等 ライブ配信・撮影の禁止

- ※来場者のプライバシーへの配慮から事務局への無断の写真・動画の撮影は禁止いたします。
- ※事務局が資料として撮影をするスタッフは「撮影」の腕章またはパスを着用しています。
- ※事務局の許諾を得て取材として撮影しているメディア、カメラマンは「取材」の腕章またはパスを着用しています。

ライブ配信のルール② 各出展者ブース内 出展者が許諾する場合はライブ配信が可能

- ※ライブ配信を許可する場合は近隣のブースに迷惑がかからないようご注意ください。
- ※ライブ配信を許可しない場合は、禁止を表示する掲示物のテンプレートをご用意いたします。印刷してお使いください。
- ※何度拒否してもライブ配信をやめない配信者がいる場合は巡回中の事務局スタッフ・警備スタッフにご相談ください。

TOKYOハンドメイド祭vol.2以降は8割以上の出展者が受入れ可に

ルール変更が行われた「TOKYOハンドメイド祭vol.2」以降は8割以上の出展者がライブコマース配信を受入れ可能としました。ライブコマースバイヤーを受入れた方の中には、1日で売上10万超えを達成した方をはじめ、バイヤーに人気のジャンルでは売上50万円を超えたという方もいらっしゃいました。

<事務局で対応できる範囲>

- ライブ配信についてのマナー向上に関する啓蒙活動
- ライブ配信ポリシーの意思表示をするPOPやカードのダウンロード素材の用意
- 断ってもやめないマナー違反の配信者への注意
- 場内アナウンスでマナー遵守の呼びかけ
- 警備スタッフの巡回強化

<ブース内でライブ配信を禁止する場合>

- 右のマーク等の各ダウンロード素材を公開いたします(出展者専用総合案内ページにて)
- 事前に家庭用プリンター等で印刷をしてお持ちください



No Live Streaming

ライブ配信禁止



直播禁令

라이브 전송 금지



近年急成長する「ライブコマース配信」とは

ライブコマースとはECサイト(オンライン販売)とライブ配信を組み合わせた販売形態のことで、主にスマートフォンアプリなどを介して、住む場所や国を問わずに配信者(バイヤー)と消費者が質問しながら買い物できるもので、世界各国でその市場を拡大させています。日本国内でも若年層を中心にライブコマースを利用したショッピングが浸透しつつあります。

ハンドメイド界でもライブコマースによる売上が増大、マナーの面では賛否両論も

近年、ハンドメイドイベントでもライブコマースバイヤーによるライブ配信での買物代行が増えています。バイヤーがブースをライブで配信して作品(商品)を紹介、その配信を見ている人にも買いたい人がいればその場で買物代行が行われます。イベントには直接来場できない人にもハンドメイド作品を販売することができるため、より多くの人に販売できる機会が増えています。その一方で、一部のバイヤーのマナーやトラブルの面で否定的に受け止めている出展者もいることが現状です。考え方や受け入れ方は人それぞれで、「何が正しい」かはその人ひとりひとりの価値観によります。様々な意見やメリット・デメリットを知り、自分なりのポリシーを持ちましょう。



YES!

肯定的な意見

- じっくり作品を見てくれる
- たくさん買ってくれるからありがたい
- 海外の人にも自分の作品を知ってもらえる
- お客さんを出身国や人種で差別したくない
- イベントに出るといつも来てくれるお得意様がいる
- 素敵なものを紹介したいという志の高い配信者もいる
- 自分の作品の価値を知ること自信につながる
- コロナ禍で気軽にイベントには来れないのだからいいと思う
- 買いに行く旅費を考えたら手数料の上乗せはいいと思う
- マナーの悪い人ばかりではないし売上に貢献してくれる
- 全体的にバイヤーのマナーもよくなっている
- そもそも違法なことではないから問題がない
- 転売目的の買い占めとは違うので問題と思わない



NO!

否定的な意見

- 丁寧に作られた作品が雑に扱われているようで嫌だ
- 買い占められることで本来買いたい人に作品が行きわたらない
- ブースの前を長く占拠されてしまうことがあり迷惑に思う
- 手数料で儲けようとする人たちが許せない
- 展示作品をべたべた触られるのが嫌
- マナーが悪い人もいるから関わりたくない
- 自分の作品を買ってくれる人に直接届けたい
- 最終的に誰のもとに届くのか心配
- デザインやパッケージを真似されるのではないかと心配
- 謎の組織に買い占められているような気がする
- なんとなく嫌な感じがする



それ「レイシャル・ハラスメント」になるかも

ライブコマース配信の急拡大を受け、一部でトラブルも増加。ハンドメイドイベントに出展している人の一部で「日本人にしか売りたいくない」「〇〇人に買い占められたからもう来てほしくない」といったSNS投稿を見かけるようになりました。

マナーの悪い人は年齢・性別・国籍を問わずに一定数存在します。ひと呼吸おいて、ネガティブな思い込みをリセットして、過剰な敵意に心を支配されていないか自分自身を見つめなおしてみましょう。特定の属性の人々の差別や偏見につながるような言動をすると、あなた自身が批判を受ける対象にもなります。

人種・民族・国籍などの違いに基づく差別的な言動や行為、不利益な取り扱いをすることを「レイシャル・ハラスメント」といいます。「日本人にしか売りたいくない」「外国人はマナーが悪い」「外国人は転売をする」という思い込みや一方的な決めつけによる発言をすると、特定の誰かを傷つけるだけではなく、発言者自事も「差別的な考えを持つ人」「時代遅れの考え方」「未成熟な人」「心が貧しい人」という印象を持たれ、結果的に発信者自信の作品の価値や評価を下げる結果になります。

TOKYOハンドメイド祭事務局では、こうした差別や偏見を助長する言葉や攻撃的な言葉、他の出展者のイメージまで悪くなるような品位のない言葉をSNSで発信している人の出展をお断りすることがあります。

「TOKYOハンドメイド祭」は 多様性と多文化共生都市を目指す「東京」で開催するイベントです

TOKYOハンドメイド祭は、多様性を都市づくりに活かし、世界をリードするグローバル都市の実現を目指している「東京都」で開催されます。TOKYOハンドメイド祭事務局は、年齢・性別・国籍・障がいの有無を問わずに、イベントに来場するすべての方とハンドメイド作品やアートを通じておだやかで素敵な時間を共有することを運営の理念としております。この理念に共感していただける方のご出展を心から歓迎しております。

ライブコマースバイヤーに人気の3大ジャンルは 「フェイクスイーツ」「羊毛フェルト」「金色のアクセサリー」

2022年10月開催の「TOKYOハンドメイド祭vol.2」以降は、「フェイクスイーツ」「羊毛フェルト」「金色のアクセサリー」の3大ジャンルがライブコマースバイヤーに人気を集めました。完成度の高いものであれば比較的高額の作品(商品)も好調な売れ行きを見せ、「金色のアクセサリー」についてはピアスやネックレスの金具部分が金色のものやレジンに金箔を閉じ込めたものなどに高い注目が集まりました。

人気ジャンルに該当する出展ブースには多数のバイヤーが集まる傾向があります。近隣のブースに迷惑がかからないようご配慮いただきますようご協力をお願いいたします。※待機列ができそうな場合は、コーナースタンドオプションなどもお申込みください。(※出展確定後にオプションとして追加でお申込みいただけます)

ライブ配信に関する基本方針は2024年3月開催時のものです。今後は現状にあわせて柔軟に改定を行いますのでご了承ください。

一般社団法人日本アートクラフト連盟 イベント事業部
TOKYOハンドメイド祭事務局

